

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	地理歴史	科目：	日本史探究	単位数：	4	指導学年：	3
使用教科書	教科書：日本史探究『詳説日本史』		副教材	新課程 4ステージ演習ノート日本史（数研出版）			

年間指導目標：

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

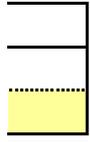
	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう
評価規準	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力が身に付いている。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野を主体的に探究しようとする態度でいる。多面的・多角的な考察や解を通して涵養される日本国民と自覚、我が国の歴史に対する愛情や他国の文化を尊重することの大切について理解している。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法				
					a	b	c	d	e
1 学期	中間 考査	第1部原始・古代 第1章日本文化のあけぼの 第2章古墳とヤマト政権 第3章律令国家の形成 第4章貴族政治の展開	(知)	古代国家の諸様態および中世への移行の過程について、総合的に理解し、調べ、まとめることができる。	○			○	
			(思)	古代国家の諸様態および中世への移行の過程について、多面的に考察・説明・議論することができる。	○			○	
			(態)	古代国家の諸様態および中世への移行の過程について、主体的に探求しようとする態度が育っている。	○	○		○	○
1 学期	期末 考査	第6章武家政権の成立 第7章武家社会の成長 第3部近世 第8章近世の幕開け 第9章幕藩体制の成立と展開	(知)	武家社会の成立から発展の諸過程について、総合的に理解し、調べ、まとめることができる。	○			○	
			(思)	武家社会の成立から発展の諸過程における特色について、多面的に考察・説明・議論することができる。	○			○	

			(態) 武家社会の成立から発展ノ諸過程における特色について、主体的に探求しようとする態度が育っている。	○	○		○	○
--	--	--	---	---	---	--	---	---

2 学期	中間 考 査	第10章 幕藩体制の動揺 第4部近代・現代 第11章近世から近代へ 第12章近代国家の成立 第13章近代国家の展開 第14章近代の産業と生活	(知) 幕藩体制から近代への移行過程および近代日本の成立過程について、総合的に理解し、調べ、まとめることができる。	○			○	
		(思) 幕藩体制から近代への移行過程および近代日本の成立過程について、多面的に考察・説明・議論することができる。	○			○		
		(態) 幕藩体制から近代への移行過程および近代日本の成立過程について、主体的に探求しようとする態度が育っている。	○			○		
2 学期	期 末 考 査	第15章恐慌と第二次世界大戦 第16章占領下の日本 第17章高度成長の時代 第18章激動する世界と日本	(知) 近代日本の行き詰まりと第2次世界大戦への道、および敗戦から現代までの日本の歩みについて、総合的に理解し、調べ、まとめることができる。	○			○	
		(思) 近代日本の行き詰まりと第2次世界大戦への道、および敗戦から現代までの日本の歩みについて、多面的に考察・説明・議論することができる。	○			○		
		(態) 近代日本の行き詰まりと第2次世界大戦への道、および敗戦から現代までの日本の歩みについて、主体的に探求しようとする態度が育っている。	○	○		○	○	
3 学期	学 年 末 考 査	学習内容のまとめと演習	(知) 日本史の各時代の特色や特徴について、総合的に理解し、調べ、まとめることができる。	○			○	
		(思) 日本史の各時代の特色や特徴について、多面的に考察・説明・議論することができる。	○			○		
		(態) 日本史の各時代の特色や特徴について、主体的に探求しようとする態度が育っている。	○	○		○	○	
								合計



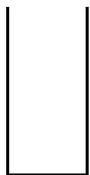
際社会

カ(態)
象につ
に課題
が育っ
深い理
しての
、他国
切さに

配当
時数

24

24



32

32

44

156